



令和6年度

決算報告

町では、限られた財源を活かして行政サービスを行っています。皆さんに納めていただいている税金が、まちづくりにどのように活かされたのか、令和6年度の決算額の概要を報告します。

問い合わせ先

総務課 内線 1259

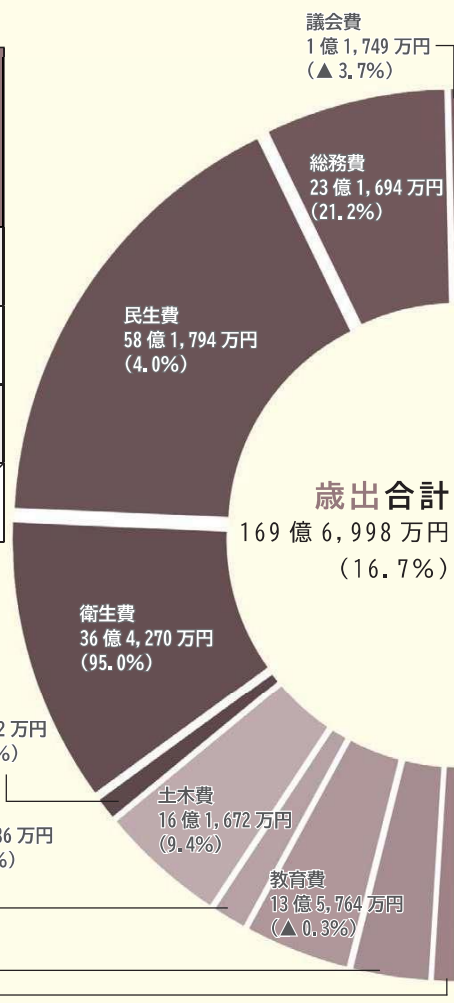
歳出

令和6年度の歳出は、令和5年度と比べて約24億3,300万円(16.7%)増加しました。主な要因としては、新清掃施設建設負担金である、山辺・県北西部広域環境衛生組合負担金が約23億832万円と大きくなっていることや、保育に係る公定価格の増加により私立保育園運営委託料などが増額となっていることなどが挙げられます。また、令和6年度は国の事業である定額減税に係る調整給付金が2億8,953万円あったことも歳出額が増加した要因となっていますが、こちらは全額国費で補填されています。

財政運営が健全化かどうかを示す指標

指標	指標の意味	広陵町の結果		早期健全化基準 (財政の立て直しを義務づけられる基準)	財政再生基準 (財政破たん判断される基準)
		令和5年度	令和6年度		
実質赤字比率 (赤字になっていないか)	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	赤字なし	13.61%	20%
連結赤字比率 (赤字になっていないか)	一般会計のほか、特別・企業会計も含めた全会計の赤字の割合	赤字なし	赤字なし	18.61%	30%
実質公債費比率 (借金の返済に苦しんでいないか)	広陵町の財政規模に対する借金返済額の割合	6.5%	5.3%	25%	35%
将来負担比率 (将来の世代に負担をかけないか)	広陵町の財政規模に対する負債の割合	16.4%	28.6%	350%	

いずれの指標も早期健全化基準の数値を下回っており、健全な状態であると言えます。引き続き、健全な状態を保つよう歳入確保、歳出削減に取り組んでまいります。なお、将来負担比率の増加については、新清掃施設建設負担金に係る多額の借入が主な要因となっています。



歳入

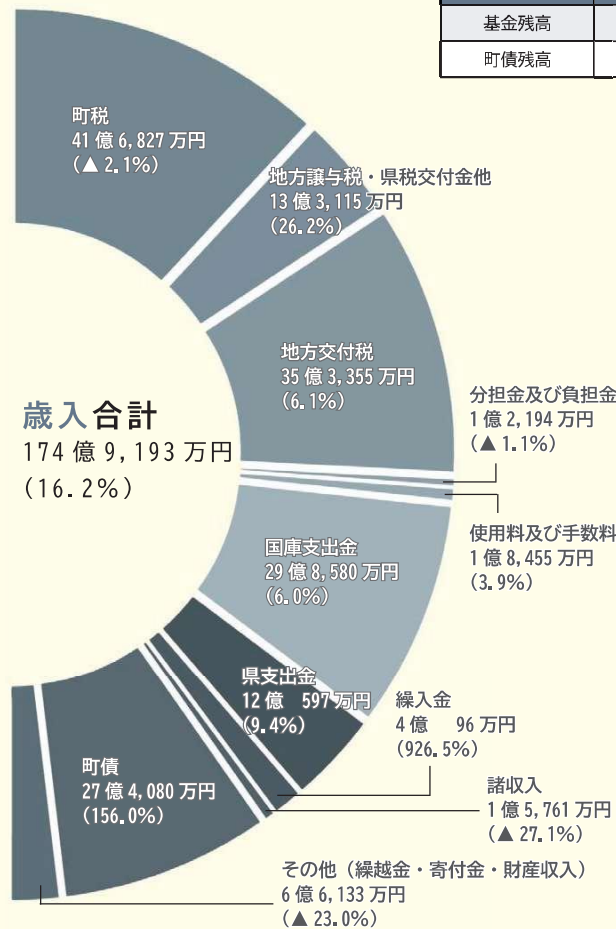
令和6年度の歳入は、令和5年度と比べて約24億4,200万円(16.2%)増加しました。主な要因としては、国の補正予算に伴う普通交付税の追加交付が1億8,079万円あったことや、新清掃施設建設負担金に係る町債が19億9,240万円、新清掃施設建設基金からの繰入金が約2億4,400万円と大きいことなどが挙げられます。

()内は対前年度増減率 ▲は減少を表す記号です。

広陵町の基金・町債

(百万円)

区分	令和5年度	令和6年度	増減額
基金残高	3,695	3,868	173
町債残高	11,023	12,801	1,778



令和6年度決算では、基金(貯金)残高、町債(借金)残高ともに増加し、新清掃施設建設負担金に係る町債の発行が大きいため、基金残高の増加よりも町債残高の増加が上回っており、財政はより厳しくなっています。町債については、将来に負担を残さないよう抑制に努めつつも、国の交付税措置を受けられる有利な町債については積極的に活用しているところですが、引き続き新規発行の抑制および町債残高の削減に努めます。

